

令和5年7月 11日  
福岡市福祉局

市政記者各位

## 認知症の人向け レビューショー開催

福岡市では、「認知症の人が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮せるまち」を目指し、「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」を推進しています。

この度、オレンジパートナーズ参画企業である（株）ワイズ・ヒューマンが運営する歌劇ザ・レビューが、認知症の人にもやさしいレビューショーを開発し、認知症当事者を招待して、

9月16日（土）に歌劇ザ・レビューシアター（東区香椎照葉 6-6-6）にて貸切公演を開催します。

別添の歌劇ザ・レビューシアターのプレスリリースのとおり取組まれますので、お知らせいたします。

### 今後のスケジュール予定

- 7月14日(金) ■劇場関係者と専門学校の学生による作戦会議 (14:30～)  
場所:歌劇ザ・レビュー歌劇倶楽部サロン(東区香椎照葉6-6-6)
- 8月23日(水) ■認知症当事者と劇団生が交流会(14:00～)
- 9月16日(土) ■貸切公演 (11:30～12:30)  
※認知症の人がスタッフ体験も行います。  
場所:歌劇ザ・レビューシアター(東区照葉香椎6-6-6)

※いずれも取材いただけます。

### 【問い合わせ】

福岡市福祉局 高齢社会部 認知症支援課 担当 笠井・住田  
電話 092-711-4891 FAX 092-733-5587  
Email ninchi-shien.PWB@city.fukuoka.lg.jp



# 福岡市オレンジパートナーズ (認知症フレンドリーシティ・プロジェクト)

×

# 歌劇ザ・レビューシアター

～ここでしか味わえない、感動体験を当事者に 2023年版～

2023年7月14日(金) 作戦会議

2023年8月23日(水) 当事者と劇団生の交流会

2023年9月16日(土) 貸切公演



福岡市東区香椎照葉にある歌劇ザ・レビューシアターでは、昨年に引き続き、「福岡オレンジパートナーズ」として、コラボ企画を開催致します。(昨年参加者：80名弱)

※福岡オレンジパートナーズとは、認知症の人とその家族、企業・団体、医療・介護・福祉事業者、行政で構成し、認知症について自主的に「知る」「考える」「つながる」「行動する」ためのコンソーシアムです。認知症になっても自分らしく生きるために何ができるかを考え、実際の取り組みにつなげていくことを目指します。

## 新たな取り組み ※7月20日(予定) から OriHime (オリヒメ) を活用しての当事者就労実施予定

### ■分身ロボット OriHime (オリヒメ) の活用

※昨年はオリヒメを使用しての観劇を実施。

7月20日(仮) から OriHime (オリヒメ) を通じて、

劇場入口でのチケット確認業務を

認知症当事者が実証的に就労を行う予定です。

### ■学生さんとのコラボレーション

### ■対面での交流会 (昨年はオンライン交流)



### 分身ロボット OriHime (オリヒメ) とは

子育てや単身赴任、入院など距離や身体的問題によって行きたいところに 行けない人のもう一つの身体、それが「OriHime」です。

OriHime は、距離も障害も昨日までの常識も乗り越えるための分身ロボットです。

## STEP1 キックオフミーティング (福岡市×学生×歌劇ザ・レビューシアター) ⇒ 実施しました

### 【知る】

### ■5月12日 キックオフミーティングの実施

今回企画にご協力いただく福岡医療秘書福祉専門学校の学生さんとキックオフミーティングを実施致しました。

福岡市認知症支援課のご担当者さまによる“福岡市の取り組み”、歌劇ザ・レビューシアター担当者による“昨年の実施内容と課題説明”を行い、学生さんに今回の課題に対するアイデア出しをしてもらいました。

また、ユマニチュード®講座の受講もしていただきました！

※認知症当事者の方との接し方から留意点、包括的ケアメソッドを学生さんが学ぶ (シアタースタッフは昨年受講済み)

### ■参加した学生の声

・ユマニチュードは1年次に授業で出てきて言葉は知っていたが、今回体験を通して深く学ぶことができたので当事者の方と接するときにしっかり実践していきたい

・当事者の方に楽しんでもらう為に、事前に招待状を準備したり、公演の時にペンライトを一緒に振ってもらう等を次の作戦会議で考えていきたい！



↑キックオフミーティングの様子



※以下 STEP2～STEP4 におきましては、いずれも取材可能でございます。

## STEP2 作戦会議 7月14日(金) 14:30～(予定)

【考える】

学生さんが実際の劇場を視察したうえで、歌劇ザ・レビューシアタースタッフとともに、前回の課題解決の為に具体例考案、新たな課題発見の機会を設け、次のステップ(交流会・貸切公演)に向けた作戦会議を実施する。

■前回の課題一例

- ・車椅子エリアの工夫
- ・劇場の様子などの事前お知らせ
- ・駐車場から劇場までの案内改善 等

## STEP3 当事者と劇団生の交流会 8月23日(水) 14:00～(予定)

【考える】

・事前に対面で認知症当事者の方と劇団生が交流をもつ  
(当事者の声を直接劇団生にきいてもらう)

↓

高齢化社会における歌劇の在り方、演目を考えるきっかけ  
交流での当事者の声を踏まえ、公演内容を簡易的にカスタマイズする  
(振付レクチャーの時間を設けるなど)

■場所：歌劇ザ・レビューシアター（福岡市東区香椎照葉 6-6-6）



↑ 昨年のオンライン交流会の様子。本年度は対面にて実施予定

## STEP4 貸切公演 9月16日(土) 午前中～(予定)

【行動する】

- ・認知症の方にも優しいプログラム開発 → 認知症当事者の意見・アドバイスを反映
- 「観劇の時間調整(60分)」 「インタラクティブなやり取り」 「振付のレクチャー」 「感想共有時間の取り入れ」
- ・スタッフ対応の体験 → グッズショップでの店員体験・劇場入場案内体験

■実施日時：2023年9月16日(土) 11:30～(仮)

■場所：歌劇ザ・レビューシアター（福岡市東区香椎照葉 6-6-6）



↑ 昨年の貸切公演の様子



↑ 昨年のショップスタッフ体験の様子。

2022年の企画動画は  
こちらから確認できます。



※報道関係者さまのお席をご準備致します。

「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」の一つとしての取り組みをぜひ取材いただけますと幸いです。

「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」は  
こちらからご覧ください。

<https://100.city.fukuoka.lg.jp/friendly-project>



【取材等のお問い合わせ先】

歌劇ザ・レビュー運営事務局

事務局 0570-01-8785

担当者(黒木) 080-5251-9174

歌劇ザ・レビューシアター

〒813-0017 福岡市東区香椎照葉 6-6-6